

宮川の風 第49号

平成30年6月8日（金）発行

宮川小学校校長室からのたより

先日、若かったころの写真アルバムをめくっていると、私が学級担任をしていたころの学級の集合写真がありました。40人近い教え子の中に、はじける笑顔で写っている女の子がいます。今ではすっかり有名になった歌手のAIです。当時から明るく元気で優しい子どもでした。テレビで堂々と鹿児島弁で話す姿を見ていると「愛ちゃんらしいなあ」と思います。

愛ちゃんが広く多くの人に知られるようになった曲「Story」が発売されたころ、偶然に母親のバーバラさんに会いました。「先生、愛ちゃんがCDでしたよ」と言って、バッグの中から「Story」のCDを出して、私にくださいました。さっそく聴いてみたとき、すんなりと心に入ってきて感動したことを覚えています。歌詞と声と、そして愛ちゃんの思い出が重なって、「愛ちゃんらしい歌」だと思いました。

裏面の歌詞をご覧ください。

人は誰も一人ではない、弱音を吐いたってかまわない、互いに助け励まし合い、今を大切にしながら自分の人生を自分らしく生きていくことが大切なことだと教えられます。立場を変えて考えると、友だちを一人ぼっちにはいけない、弱音を否定してはいけない、相手を受け入れながら互いに成長していくことを大切にしていきたいと思います。

熊本県で高校3年生の女子生徒が、いじめをほのめかず遺書を記して自殺した問題が起きました。後を絶たないいじめは、非常に深刻な問題です。隠れた空間で起きるいじめは、発見が非常に難しいものです。しかし、何らかのSOSは必ずあるはず。その小さな「救いを求める声」を聞き逃さない大人でなくてはなりません。また、「いじめは絶対に許さない」という強いメッセージを日頃から子どもたちに伝え続けることも重要です。

日曜参観日に行いましたネットトラブルに関する講演会に参加された方の感想文です。

『子どもには防犯のためキッズ携帯を持たせているので、何かひまつぶしなどする時は親のスマートフォンを渡しています。自分（親）の物だから安心と思って使用させていましたが、とても恐ろしいことに気付きました。これからは子どもに貸した後は、何を見たか確認しようと思いました。自分の子は大丈夫！は甘い考えだな～と思いました。』

みんなで考えていくべきことです。

ある日のできごとから



おめでとう

今日は、お母さんのたんじょうび日でした。わたしは、朝、お母さんよりもはやくおきて、めざましがわりになってお母さんをおこしました。それから、お母さんの足のマッサージをしてあげました。お母さんの顔を見ると、うれしそうでした。

本校3年生の日記です。担任からは「そのやさしい気持ちが一番のプレゼントだと思いますよ！」とコメントが書いてありました。優しい気持ちに感動しました。きっといろんな家庭で、このような温かい出来事が生まれているのだろうと感じています。

給食時間の校内放送を聞いている子どもたちから、歓声が聞こえてくる場合があります。先日は、事前に行ったインタビューに反応していました。数人の子どものインタビューで、まず「〇〇さんにインタビューしました」とその子の紹介で「ワー」と一度目の歓声。「仲の良い友だちは誰ですか」に対する「〇〇さんです」で2回目の歓声が沸き起こっていました。2階から校長室まで響く歓声でした。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）